

# わたしと看護 Vol.15

## 手術室 4年目



患者に寄り添った看護

### 安心して手術を受けられるよう 患者に寄り添った看護の提供を

九州がんセンターでは、年間2500件以上の手術を行っています。がんの摘出、再建手技を伴う拡大手術、ロボット手術まで、幅広い術式に対応できるように医師や多職種と密に連携しています。

私は、今年度より九州がんセンターに異動し、手術室で働いています。前施設での看護経験7年(病棟・手術室)を活かし、新しい環境の中、日々学び奮闘しています。

がんセンターという特色もあり、より大きな不安を抱えて手術に臨まれる方がほとんどです。病棟とは異なり、直接患者さんとコミュニケーションをとる機会は少ないですが、手術後の患者さんから「怖かったけど、あなたがそばにいてくれてよかった」と言われたことがあります、やりがいも感じています。

手術室では、術式に応じて麻酔や体位も異なり、患者さんが抱える不安も様々です。患者さんが安心して安全に手術を受けられるよう、術前訪問時から患者さんの思いに耳を傾け、患者さんに寄り添った看護を提供できるよう努めていきたいと思えます。